



ABA-TW1 GBD-TT1 EBD-TT1
ABA-TW2 GBD-TT2 EBD-TT2
GBD-TV1 EBD-TV1
GBD-TV2 EBD-TV2

SAMBAR

整備解説書／
電子制御装置故障診断書

株式会社SUBARU

本資料は、2017 年 4 月以降に印刷したものです。

区分 L

'08.7

G7520JJ

お知らせ

本書は2008年10月までに確認された技術情報を織り込み、
印刷しています。

おはよう

本書は1980年10月に東京で出版された
。その内容は

序文

本書は、'08年7月の新型サンバー発売に際して、既販車との相違点の概要、仕様および構造、作動などの技術的内容と整備要領を解説してあります。

本書をご熟読の上、サービス並びに販売活動にご活用くださいますようお願い申し上げます。

その他に次の資料を発行しておりますので、併せてご活用くださいますようお願いいたします。

新型車解説書	'08-7 U7520JJ
電気配線図集	'08-7 X7520JJ

整備要領

故障診断

なお、本書の内容は、発行承認時の最新の製品情報を基に作成しています。

車両の仕様変更等により今後の車両と内容が一致しないことがありますので、あらかじめご承知おきください。

今後、仕様変更があった場合にはテクニカルインフォメーションその他でご連絡いたします。

エンジンオイル交換 [S]
一サ

エンジン トート

エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)

エンジンオイル交換 [I]
一サ

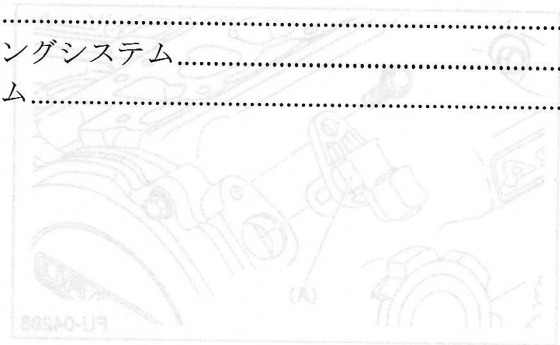
エンジン : A

エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)

1. 整備要領

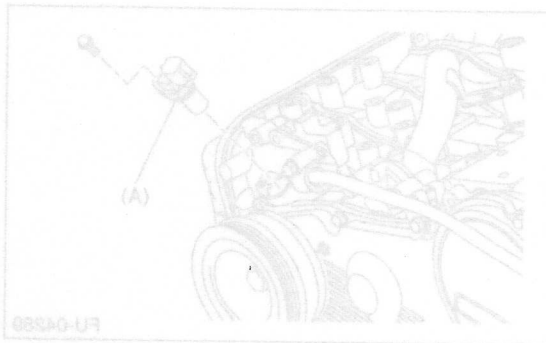


	ページ
1-1 エンジン.....	2
1 フューエルインジェクション (フューエルシステム).....	2
2 メカニカル.....	5
3 スターティング/チャージングシステム.....	7
4 エンジンクーリングシステム.....	8



エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)
エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)
エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)

エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)



エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)

エンジン : B

エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)

エンジン : B

エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)

エンジン : B

エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)

エンジン : B
エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)
エンジン : B
エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)
エンジン : B
エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)
エンジン : B
エンジンオイル交換 (A) (M テス ト エー ジ)

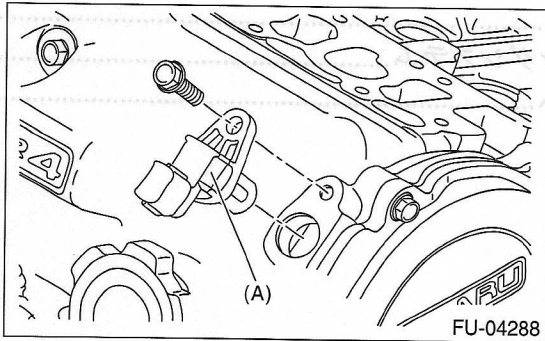
1-1 エンジン

1 フューエルインジェクション (フューエルシステム)

[1] カムシャフトポジションセンサー

A: 取外し

- 1) バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2) カムシャフトポジションセンサーからコネクターを切離し、カムシャフトポジションセンサーを取外す。



(A) カムシャフトポジションセンサー

B: 取付け

- 1) 取外しの逆手順で行う。

参考:

新品の O リングを使用する。

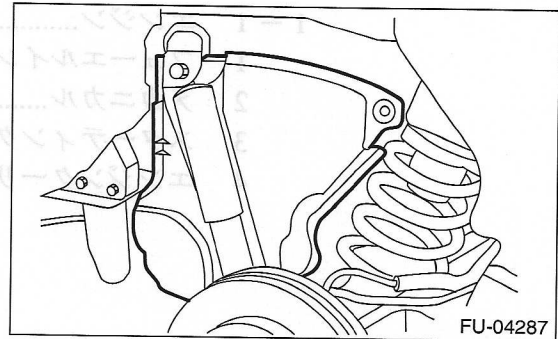
締付けトルク:

8 N·m (0.8 kgf-m, 5.9 ft-lb)

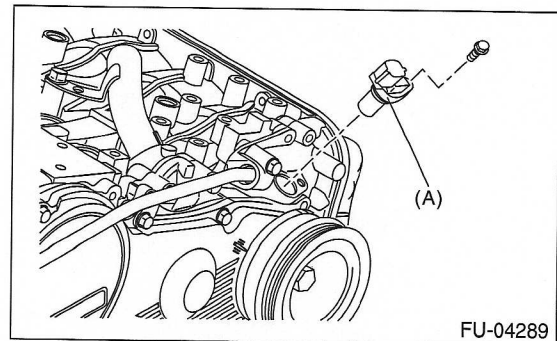
[2] クランクシャフトポジションセンサー

A: 取外し

- 1) 車両をリフトにセットする。
- 2) バッテリーのマイナス端子を外す。
- 3) 車両をリフトアップする。
- 4) リヤホイール RH を取外す。
- 5) エンジンルームカバーを取外す。



- 6) クランクシャフトポジションセンサーからコネクターを切離し、クランクシャフトポジションセンサーを取外す。



(A) クランクシャフトポジションセンサー

B: 取付け

- 1) 取外しの逆手順で行う。

参考:

新品の O リングを使用する。

締付けトルク:

8 N·m (0.8 kgf-m, 5.9 ft-lb)

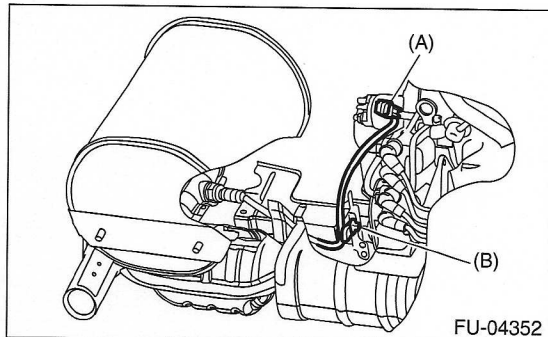
[3] リヤ O₂ センサー

A: 取外し

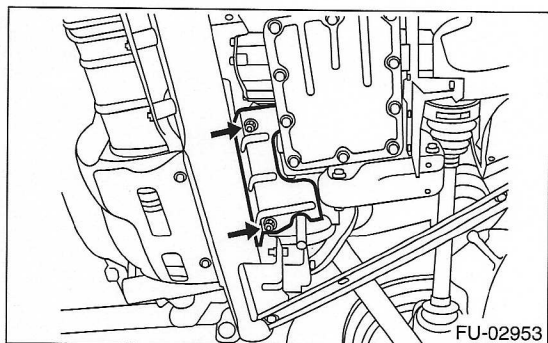
注意:

センサーやマフラーのねじ山を損傷する恐れがあるため、リヤ O₂ センサーを取外すときは、マフラーが冷えてから作業を行うこと。

- 1) 車両をリフトにセットする。
- 2) バッテリーのマイナス端子を外す。
- 3) リヤ O₂ センサーコネクター (A) を切離し、クリップ (B) を外す。



- 4) 車両をリフトアップする。
- 5) カバーを取外す。

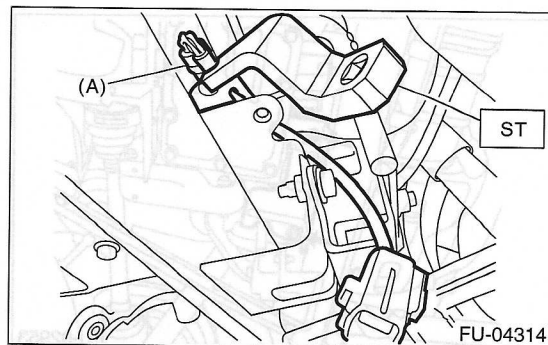


- 6) スプレー式潤滑剤をリヤ O₂ センサーのねじ山部分に塗布し、1 分以上放置する。
- 7) 特殊工具を使用して、リヤ O₂ センサー (A) を取外す。

特殊工具 499990120 オキシゲンセンサー
レンチ

注意:

特殊工具と O₂ センサーの間にハーネスを挟込まないように注意すること。



B: 取付け

注意:

発煙、発火の原因となるため、潤滑剤がエキゾーストパイプおよびマフラーに付着した場合、ウエス等で完全に拭取ること。

- 1) 次回の取外しを容易にするため、リヤ O₂ センサーを取付ける前に、焼付き防止剤をリヤ O₂ センサーのねじ部のみに塗布する。

注意:

焼付き防止剤がリヤ O₂ センサーのプロテクター部に付着しないよう注意すること。

焼付き防止剤:

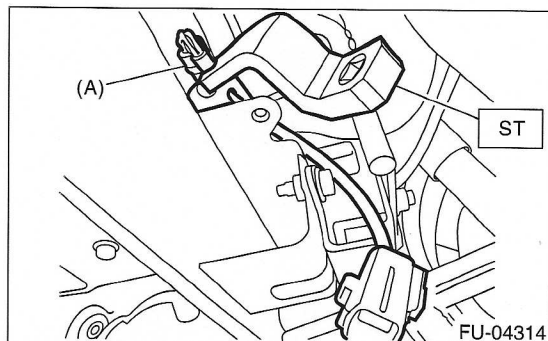
ネバーシーズ NSN、ジェットリ्यूブ SS-30
または同等品

- 2) 特殊工具を使用して、リヤ O₂ センサー (A) を取付ける。

特殊工具 499990120 オキシゲンセンサー
レンチ

締付けトルク:

44 N·m (4.5 kgf-m, 32.5 ft-lb)

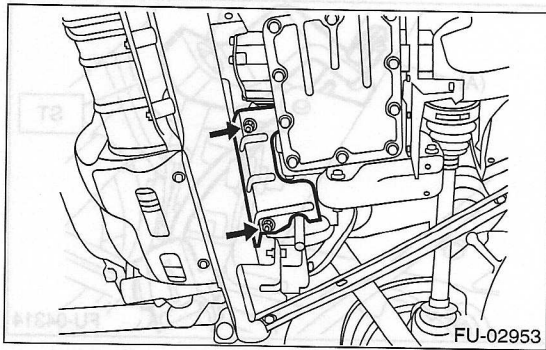


エンジン

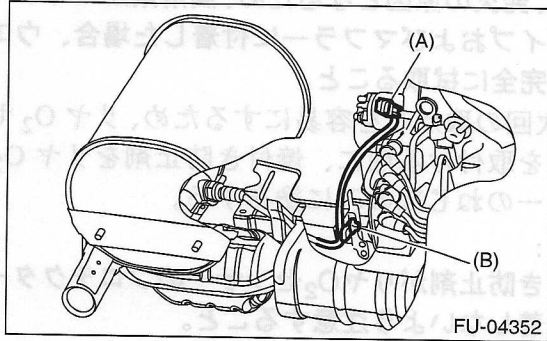
3) カバーを取付ける。

締付けトルク：

7.5 N·m (0.8 kgf-m, 5.5 ft-lb)

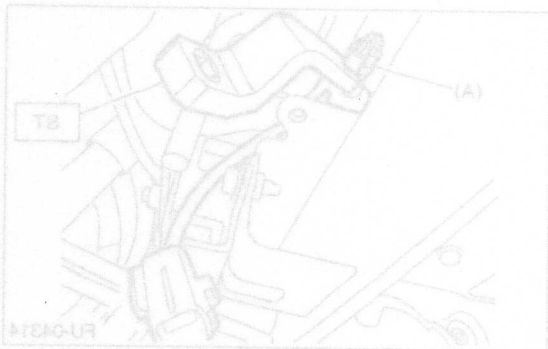


4) リヤ O₂ センサーコネクター (A) を接続し、クリップ (B) で固定する。



5) 車両をリフトダウンする。

6) バッテリーのマイナス端子を取付ける。

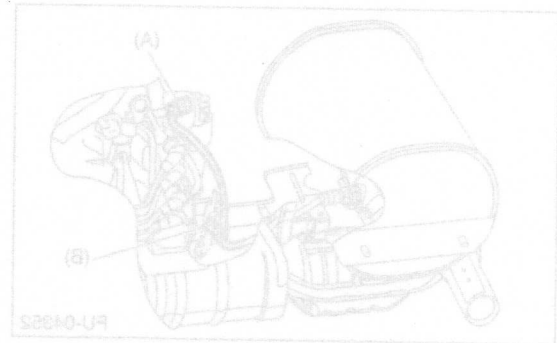


一セバサ O ナリ [E]

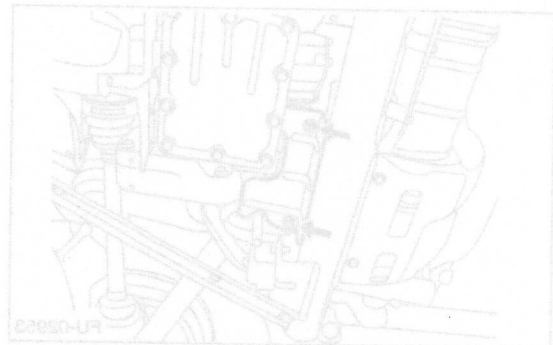
J 代頭 :A

:意主

あな外怒るす断断き山ジはの一でマターセバサ
一でマ、おきうを代頭き一セバサ O ナリ、めさる
。うこにけき集れらなアス余な
。るすイセオコイナリき両車 (1
。す代き干断スサトマの一りてマハ (2
。J 類型き (A) 一セバサ O ナリ (E
。す代き (B) テリ



。るすママイナリき両車 (4
。す代頭き一ハ成 (5



山ジはの一セバサ O ナリき断断き一マハ (6
。るす量対土以位「J 市量コ位漏
き (A) 一セバサ O ナリ、アJ 用断き具工断断 (7
。す代頭
一セバサ O ナリき断断き一マハ (8
。るす量対土以位「J 市量コ位漏

2 メカニカル

[1] V ベルト

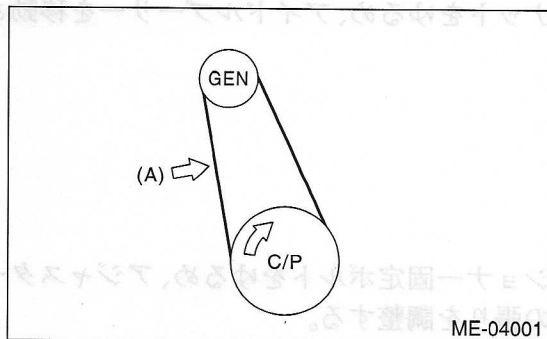
注意:

ベルトの張力は、必ず規定の範囲内になるように点検および調整を行うこと。規定の範囲外の張力で使用した場合、下記のような故障に至る可能性がある。

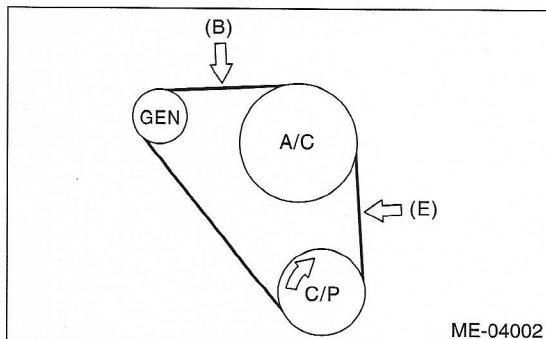
- ベルトの張力が強い場合、各プーリーの軸受部に想定外の力が発生し、軸受部の異常摩耗による異音の原因になる。
- ベルトの張力が弱い場合、ベルトとクランクプーリーがスリップを起こし、クランクプーリーが摩擦熱によって異常高温になる。この状態が繰返されるとベルトの異常摩耗が発生し、異音、ベルトの損傷およびクランクプーリーの破損の原因になる。

- 1) エンジン運転時に、ベルトの波打ちや横ぶれ回転しないか、ベルトのゆるみとアライメントを点検する。
- 2) ベルトの亀裂、破損、油などの付着を点検し、損傷のひどい物は交換する。
- 3) ベルトのたわみ量および張力を点検する。

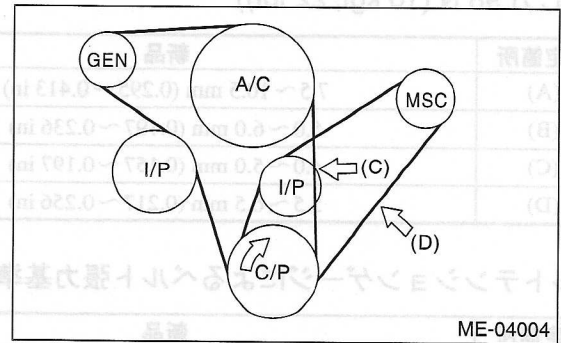
- NA モデル (A/C 無モデル)



- NA モデル (A/C 付モデル)



• MSC モデル



- (A) たわみ量および張力測定箇所
- (B) たわみ量測定箇所
- (C) たわみ量および張力測定箇所
- (D) たわみ量および張力測定箇所
- (E) 張力測定箇所

- C/P クランクプーリー
- GEN オルタネータープーリー
- A/C A/C コンプレッサープーリー
- I/P アイドラプーリー
- MSC スーパーチャージャープーリー

手押しによるたわみ量基準値
(押し力 98 N (10 kgf, 22 lbf))

測定箇所	新品	継続使用品
(A)	7.5～10.5 mm (0.295～0.413 in)	10.5～13.5 mm (0.413～0.531 in)
(B)	5.0～6.0 mm (0.197～0.236 in)	6.0～7.0 mm (0.236～0.276 in)
(C)	4.0～5.0 mm (0.157～0.197 in)	4.0～6.0 mm (0.157～0.236 in)
(D)	5.5～6.5 mm (0.217～0.256 in)	6.5～7.5 mm (0.256～0.295 in)

ベルトテンションゲージによるベルト張力基準値

測定箇所	新品	継続使用品
(A)	390～490 N (40～50 kgf, 88～110 lbf)	290～390 N (30～40 kgf, 65～88 lbf)
(C)	630～710 N (64～72 kgf, 142～160 lbf)	540～710 N (55～72 kgf, 121～166 lbf)
(D)	640～740 N (65～75 kgf, 144～166 lbf)	540～640 N (55～65 kgf, 121～144 lbf)
(E)	470～550 N (48～56 kgf, 106～124 lbf)	390～470 N (40～48 kgf, 88～106 lbf)

4) たわみ量および張力が基準値を外れる場合は、ベルトの張りを調整する。

(1) オルタネーター用ベルト (NAモデル) およびオルタネーター、A/C用ベルト (NAモデル)

オルタネーター固定ボルトをゆるめ、オルタネーターをアジャストさせて、ベルトの張りを調整する。

締付けトルク：

オルタネーター

25 N·m (2.5 kg-m, 18.4 ft-lb)

19 N·m (1.9 kg-m, 14.0 ft-lb) (アジャスト側)

(2) オルタネーター、A/C用ベルト (MSCモデル)

アイドルプーリーおよびアイドルプーリーステア固定ナットをゆるめ、アイドルプーリーを移動させて、ベルトの張りを調整する。

締付けトルク：

アイドルプーリーおよびアイドルプーリーステア

20 N·m (2.0 kg-m, 14.8 ft-lb)

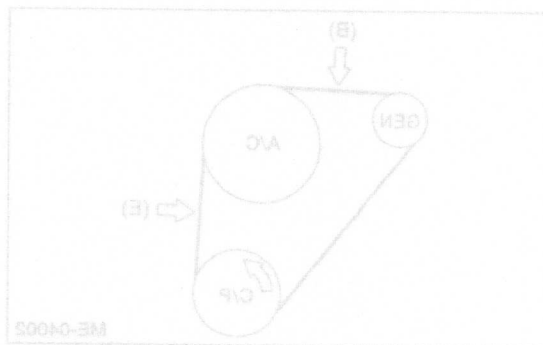
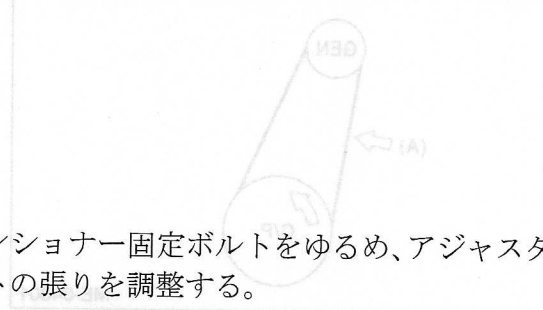
(3) スーパーチャージャー用ベルト (MSCモデル)

アジャスターボルトのロックナットおよびベルトテンショナー固定ボルトをゆるめ、アジャスターボルトによりベルトテンショナーを移動させて、ベルトの張りを調整する。

締付けトルク：

ベルトテンショナーおよびロックナット

19 N·m (1.9 kg-m, 14.0 ft-lb)



3 スターティング／チャージングシステム

[1] 概要

項目		仕様			
車両モデル		MT		AT	
スターター	出力 (kW)	0.7		0.8	
	回転方向 (ピニオンから見て)	左			
オルタネーター	公称出力 (V-A)	乗用	貨物	乗用	貨物
		12 — 55	12 — 60	12 — 55	12 — 60
	発電制御	あり			

4 エンジンクーリングシステム

	推奨品	品番	代替品
クーラント	SUBARU SUPER COOLANT	K0679Y0000	—
	SUBARU SUPER COOLANT (補充用)	K0679Y0001	—

注意:

SUBARU SUPER COOLANT および SUBARU SUPER COOLANT (補充用) は、希釈せず使用すること。